

特定非営利活動法人 奈良県防災士会設立

平成 27 年 5 月 24 日（日）大和郡山市市民交流館において日本防災士会奈良県支部第 8 回総会を開催し議案が承認されました。

支部総会に引き続き特定非営利活動法人奈良県防災士会設立総会へ移行し、本年度より特定非営利活動法人奈良県防災士会として活動していくことになりました。支部会員数が 300 名を越え、各地域での防災訓練・研修等の要望が増える中、組織としての協働が求められています。



NPO (特定非営利活動) 法人化にあたって

私ども日本防災士会奈良県支部は、特定非営利活動法人奈良県防災士会として新たな一歩を踏み出すことになりました。

早いもので、平成 20 年 4 月 27 日に奈良県内の防災士有資格者が集い、少しでも地域の防災力を向上できないかと日本防災士会奈良県支部を結成して 7 年が過ぎました。結成当時には、活動を始めようにも、防災士とは？防災士会とは？から説明をしなければならなかったことが昨日のこのように思われます。しかし、会員各位の地道な努力や役員各々が手弁当で活動を行ってきた結果、今では防災といえば防災士会、という状況が生まれつつあります。



これまで、日本防災士会奈良県支部としての活動は、任意団体として、ボランティア団体として、個人としての活動が中心であり、活動によって発生する経費はほとんど個人負担となっていました。しかも、会員数が 320 名を超え、活動内容、活動範囲が広範囲に渡ることから、もはや一任意団体としては限界でありました。また、県内自治体や各種団体との関係は、これまでのような個人と個人の関係から、組織と組織の協働を目指した活動への転換が期待される時期でもありました。そこで、先の総会において NPO（特定非営利活動）法人化を提案いたしましたところであります。お陰さまで会員の皆様の理解を得て NPO 法人として新たな一歩を踏み出すことになりました。

NPO 法人は、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配することを目的としない団体です。したがって、様々な社会貢献活動を目的とする事業を行う事自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになります。未だ収益を得る事は出来ていませんが、一緒に力を合わせて頑張りましょう！

無理をせず、できることから、できる範囲を、熱い思いを持って！

今後ともよろしくお願いいたします。

[理事長 植村信吉]

活動報告

■ 2015 年(平成 27 年)1 月～7 月の活動



1/17 避難所運営訓練「HUG」(平群町)



1/17 シェイクアウト体験(平群町)



2/22 簡易担架指導(三宅町)



3/1 避難所運営体験(桜井市)



3/22 毛布の使い方・傷病者の搬送(奈良市)



6/28 「あっぱ君」による胸骨圧迫の指導(宇陀市)



6/14 ロープワーク(斑鳩町)



7/26 図上訓練「DIG」研修(広陵町)

月/日(曜)	イベント名称	市町村名	主催者又は要請団体	派遣内容
1/16(金)	防災研修(職員研修)	奈良市	県立奈良東養護学校	避難所運営訓練「HUG」
1/17(土)	朱雀地区防災研修会	奈良市	朱雀地区自主防災会	避難所運営訓練「HUG」
1/17(土)	竹あかりの集い	平群町	平群町社協	避難所運営「HUG」・あっぱ君
2/5(木)	実践的地域防災力支援事業「防災実技研修」	御所市	御所市名柄小学校	小学生対象 避難訓練及び避難所体験～災害時の行動～
2/14(土)	ららまつり	生駒市	実行委員会	
2/18(水)	職員防災研修会	三宅町	三宅町町づくり推進課	避難所運営訓練「HUG」
2/22(日)	三宅町防災訓練	三宅町	三宅町町づくり推進課	避難所運営訓練「HUG」
2/22(日)	防災研修会	明日香村	明日香村	防災講演「災害の基本対策」
2/22(日)	橿原市防災出前講座	橿原市	橿原市社会福祉協議会 葛美住宅自治会	防災講演「災害の基本対策」
2/22(日)	防災研修会	御所市	御所市多田地区 自主防災会	防災の基本と家具の転倒飛来防止方法
2/28(土)	河合町防災訓練 ※実技訓練(町職員)実施に伴うサポート役	河合町	河合町総務課	訓練時、ロープワーク実技指導
2/28(土)	広陵町防災士 ネットワーク総会	広陵町	広陵町危機管理室	総会、家具の転倒防止、感震ブレーカー、防災マップづくり
3/1(日)	災害時要配慮者が助かる道	橿原市	さぼれす九九しゃ	防災講演会研修
3/1(日)	避難所開設訓練	桜井市	桜井市危機管理課	シェイクアウト、避難所体験他
3/13(金)	応急手当一般・広報研修	天理市	医療法人和光会	AED の使用法
3/14(土)	防災講演会	御所市	御所市蛇穴(さらぎ) 自主防災会	奈良県の地震予測 避難所の基本ルール
3/22(日)	避難所開設・運営訓練	奈良市	大安寺西地区 自主防災防犯会	救出救助・搬送法・止血
3/22(日)	防災研修会	王寺町	王寺町花山自主防災会	家具類の転倒防止、落下防止対策
3/22(日)	避難所の開設と基本	奈良市	奈良市大安寺西校区 自主・防犯会	避難所運営訓練「HUG」
3/23(月)	避難所運営訓練	大和郡山市	郡山市社会福祉協議会	避難所運営訓練「HUG」
5/10(日)	名柄地区イベント	御所市	名柄地区	アドバイザー派遣
5/10(日)	金澤地区防災研修	田原本町	金澤地区自治会	アドバイザー派遣
6/4(木)	平群町自主防災会総会 記念「防災研修会」	平群町	平群町、平群町自主防災会	
6/11(木)	防災訓練	三宅町	三宅町高齢者福祉施設「ぼかぼか」	シェイクアウト、避難訓練
6/13(土)	救出訓練	京都府(高尾山)	防災士有志	
6/14(日)	斑鳩町小林ハイツ防災訓練	斑鳩町	斑鳩町	ロープワーク、三角巾
6/21(日)	自治会防災研修会	河合町	高塚台自治会防災研修会	ロープワーク
6/27(土)	「DIG 研修」	平群町	平群町防災士ネットワーク	図上訓練「DIG」研修
6/28(日)	菟田野地区防災訓練	宇陀市	宇陀市	地域防災力支援事業
7/4(土)	五条市総合防災訓練	五条市	五条市	地域防災力支援事業
7/26(日)	下垣内自主防防災研修会	平群町	下垣内自主防防災研修会	過去の災害から学ぶ
7/26(日)	広陵町地域防災訓練	広陵町	広陵町役場危機管理課	図上訓練「DIG」研修

■支部防災研修会の開催

平成 27 年 7 月 4 日（土）、西大寺北地域ふれあい会館において「日本防災士会奈良県支部 研修会」が行われ、82名の防災士が研修を行いました。

第一部は、河合町の高岡防災士より、「自主防災組織の運営について」という演題で、自主防災組織の立ち上げから現状までの話を聞きました。日頃からのつながりの大切さを改めて実感することができて、皆さんの地元で行える活動をイメージしてもらいました。

第二部は、子ども向け防災教育実施のための試行として、参加者に子供の気持ちになってもらい、三郷町の北村防災士ご夫妻が、「防災紙芝居」を披露しました。皆さん目を輝かせて体験されていました。今後、奈良県防災士会では子供向けの防災メニューを増やしていきます。詳しくは9月以降にホームページでご案内します。参加防災士から、「うちの自治体でも使いたい」という声や、紙芝居のやり方についての質問や意見が多数出て、非常に活発なディスカッションが行われました。

第三部は、災害に役立つ小技集として、大和郡山市の松尾防災士から「簡易トイレの作り方」、田原本町の柏田防災士から「食品包装用ラップフィルムの活用法」、広陵町の板垣防災士から「新聞紙でのスリッパの作り方」、葛城市の杉村防災士から「冷蔵庫の活用法」について、紹介があり参加者全員一緒に実技体験をしました。防災士資格を取得しても人前に出るのはちょっと…という方も、こういう体験はすぐ地元を持ち帰れるので、皆さん熱心に取り組まれて、これまでにない活気あふれる研修会となりました。

研修会終了後に45名の参加で懇親会を行いました。今年防災士資格を取得された方も、ベテラン防災士も、ざっくばらんな意見交換で今後の活動に大いに役立ちました。防災減災活動は各自が負担にならないことが続けていくためには大切なことなので、今後もこういった楽しくて役立つ実技講習を取り入れた研修会を積極的に企画し主催していきます。気軽にご参加ください。

＜岩野 祥子 防災士＞



「自主防災組織の運営について」講演



防災紙芝居



簡易トイレの作り方



新聞紙でのスリッパの作り方

防災士ベスト販売中です

左胸に「奈良県支部」の名称を入れた、防災士ベストを販売しています。価格は2,500円（税込）です。「NPO法人 日本防災士会」の頒布ベストよりお得にご購入いただけます。ぜひご活用ください。

- 頒布価格 2,500円（税込）
- カラー 緑（1色）
- サイズ F(L)、XL、XXL（3サイズ）

※XXLサイズは在庫僅少です。お早目に！

- 申し込み先、支払方法など、詳しくはホームページをご覧ください。
- 研修会場などで販売する場合もございます。



着用例：サイズF(L)（身長160cm）

サイズ	F(L)	XL	XXL
着丈	69	72	75
身幅	56	59	62

（単位：cm）

■災害に役立つ小技 「災害時における冷蔵庫の有効活用を考える」

電気が止まり、冷蔵庫が止まった。電気の復旧も当分見込めない。

そんな時は、冷凍庫の中の凍っているものをすべて出し、冷蔵庫の一番上の段に詰め込んでください。

昔の氷の冷蔵庫と同じ原理で冷凍食品の冷気が下に降りてくるのを利用します。

また、野菜室に入っているものは、冷蔵庫の下段に移動させます。

その時点で食品を区分し、食品を無駄なく食べる工夫をしましょう。

※すべての食材を冷凍庫に詰めるのもアリです。冷凍冷蔵庫の容量に応じて工夫してください。

ただし、冷蔵庫にはすぐには近づかないようにして、安全確認。

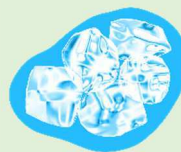
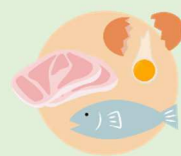
倒れかけの冷蔵庫は安全確保をしてから利用してください。

また、普段から転倒防止措置をしておくのが望ましいと言えます。



◎ 冷蔵庫の活用ポイント①

- ・「日持ちしないもの」「調理等で日持ちするもの」「常温でも日持ちするもの」に区分。
- ・「日持ちしないもの」から食べる。(肉、魚、豆腐、惣菜など)
- ・「調理等で日持ちするもの」は先に調理。
 - ⇒焼く、煮る、揚げ物にする(割れた卵も利用できます)。
 - 天日干し(魚など干物にする)、塩漬けやみそ漬けなど下味を付けて保存性を高める。
- ・「常温でも日持ちするもの」は、食品の状態に注意して食べる。(カップ麺、レトルト食品、缶詰など)
- ・氷は必ず器に移す⇒貴重な飲料水になります。
 - 普段からペットボトルで水を凍らせておくと、停電の際は保冷剤になり、融ければ飲料水として利用できます。
- ・加熱処理のため、カセットコンロ・ボンベは必需品。普段から準備しましょう。



◎ 冷蔵庫の活用ポイント②

- ・冷蔵庫の冷気を逃がさない。⇒開閉はできるだけ少なく、すばやく。食品をいかに長持ちさせるか。
 - ガムテープなどで封印して家族がつい開けてしまうのを防ぐのも一つの方法です。
- ・食品の状態に十分注意する。⇒食中毒を防ぐ。要冷蔵品・冷凍品はとにかく早めに加熱をして食べる。
- ・冷凍食品は説明書をよく読んで利用。無駄なく食べ、ゴミをなるべく出さないように。
- ・普段から練習を！⇒災害時には、調理レシピをゆっくり考える余裕はありません。
- ・備蓄食品は、子どもやお年寄りに気配りして準備する。

○冷蔵庫のドア等が壊れた時には、クーラーボックスや発泡スチロール容器で代用し食品を保存することができます。

○冷蔵庫の中は、普段から日持ち順に整理して、把握しておきましょう。

◎ 家でやってみませんか？～実践編～

- ・冷蔵庫にある食品とレトルト食品など組み合わせ、電気・ガス・水道が使えない、食材も買えないという状況を想定して、家族の一週間分の献立を考える練習をしてみる。
- ・家族みんなで災害時を想定して、アウトドア感覚で調理をしてみる。
 - ポリ袋や空き缶でご飯を炊く、缶詰だけで一品料理を作るなど、インターネットで検索するとさまざまなレシピが公開されています。ぜひ挑戦してみてください。



東日本大震災の復興支援のため宮城県気仙沼市へ赴任し、主として下水道の復旧・整備事業を担当しましたが、無事2年間の任期を全うし昨年12月に帰ってきました。

その間、防災士の皆様からは温かいご支援や励ましのお言葉を戴き誠に有難うございました。衷心より御礼申し上げます。そして、NHK 奈良放送局の谷口慎一郎防災士からの依頼で気仙沼の現状について生放送で電話出演（2013年2月）したことなどがつい最近の事のように思い出されます。厳しい中にも思い出多い充実した2年間でした。

ところで、これまで気仙沼からの報告を「日本防災士会奈良県支部広報No.9(2013,7,20)」で「宮城県へ復興支援に行くにあたって」を、また、No.11(2014,8,15)で「中間報告 気仙沼市におけるまちづくりの考え方」を投稿しました。

本稿では、復興支援の2年間を通じて感じたこと、勉強になったことを報告します。皆様の参考になれば幸いです。

【復興計画と現状】

被災した町を復興するための出発点は将来を見据えたまちづくり計画です。

まちづくりの手順を簡単に記しますと、

- ①震災復興計画策定本部設置(2011年6月)
- ②市民の声を踏まえて検討
- ③計画決定(2011年10月)
- ④実施(現在進行中)
- ⑤完成となります。

気仙沼市の場合、計画は発災7ヶ月後にできあがりしました。

そして、4年経過した現在鋭意実施中です。（神戸の場合まちづくりの完了まで20年かかったとされています。）実施に際しては、いろいろな問題が障壁となり思うように進みません。（用地買収関係などについては広報No.11参照）その中で法律による規制も大きな要因となっており、政府は復興を促進するため【復興特区法】を改正して土地の強制買収要件を緩和したり、埋蔵文化財の調査期間の短縮、開発行為手続きの見直しなどを行っています。

※感じたこと・勉強になったこと

- ・災害が発生したときにどのようにまちづくりをするか、あらかじめ計画をしておくことは不可能なのかなー。
- ・法律は絶対的なものと考えがちであったが、状況や環境の変化に対応して変えられるのだ。（人間が作ったものであるから、人間によって見直されるのは至極当たり前のことなのだー。）



2014年4月 残された廃屋と嵩上げ工事が進む南気仙沼地区



2014年11月 被災したままのフェリー乗り場



2013年3月 被災2年後の南町地区



2014年11月 左の写真と同じ状況です

【仮設住宅での生活】

私は被災した住民と共に中学校の運動場に設けられた仮設住宅（6 軒長屋×16 棟）に住み、職場に通っていました。仮設住宅はプレファブ造りですが、一般の人が抱くイメージとは違い、防音・断熱に優れ快適でした。（結露や湿気に悩まされたが）間取りも一軒辺り、4 畳半×4 間で十分な広さでした。（親子 4 人と祖父母の家庭などは二軒分借りていました。）

同じ住宅の皆様からも遠隔地から復興支援に来て戴いているという感謝の念からか、また単身赴任を気遣ってか時々夕食のおかずの差入れなどを頂きました。

東北地方の寒さについて、関西の皆様からは随分心配して戴きましたが、寒さ自体は盆地である奈良県と余り変わらない感じです。ただ、海岸沿いに位置するため風が強く洗濯物が何回も飛ばされました。その他、冬の雪は多いです。関西では昼間雪が残るということは珍しく、子供たちが雪だるまを作ったり、雪合戦をして遊べるのは極少ない状態ですが、当地では冬の間ずっと道路の轍以外のところには雪が残っています。車では冬用タイヤは欠かせません。



2014 年 2 月 仮設住宅の雪景色

それから、阪神・淡路大震災以降全国的に【絆】の意識が高まったこともあり、仮設住宅にも全国からいろいろな団体の人が励ましに来てくれました。



2014 年 8 月 翁家和助による皿回し

記録漏れもありますが、手元にある資料では 2013 年 3 月～2014 年 12 月までに 69 回の訪問がありました。

主な内容は、・落語、マジックショー、コンサートなど・お好み焼きを食べよう、お茶っこ会、イモ餅試食とお茶会など・健康相談、ヨガ教室など、また支援団体は「みちのく応援団」、「京都府職員労働組合」等の他、「シャネル株式会社」や「吉野家」などの民間企業にも来て頂きました。

※感じたこと・勉強になったこと

- ・無償で遠隔地から足を運んで頂ける日本人の絆の強さ、心の温かさを強く感じました。
しかし、回数が多くて（殆ど毎週）マンネリ化する事もあるのではなかろうかとも思いました。
- ・ボランティアの温かい励まし・思いやりに一時の癒しを得て、十分ではない仮設住宅での生活を我慢することができても、将来の職業や住宅再建のことを考えると心から晴れるという気持ちにはなれないのではないだろうか。
復興支援に来ている我々（任期が終われば帰るべき家がある）とは違う心配が心の片隅に有るのではなかろうか。
- ・絆という言葉が全国的に取り上げられ、マスコミなどで報道されましたが、中学校の敷地内に建てられた仮設住宅に住む人（被災者）と敷地から道路一本隔てた被災していない人との間に目に見えない大きな溝があることを知りました。難しいものです。



2014 年 10 月 屋下がりの仮設住宅



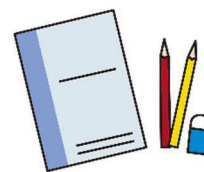
2014 年 10 月 お友達になったブッキーちゃん

後編は、次回発行の広報誌に掲載いたします。

今後の活動予定

■本部研修会

日時：2015年9月26日(土) 13:30PM – 17:00PM
場所：新大阪丸ビル別館



■日本建築家協会近畿支部大会

日時：2015年11月13日(金) 13:50PM – 17:30PM
場所：日本聖公会 奈良基督教会（国の登録有形文化財・奈良市登大路町45）
内容：第1部 基調講演（13:50～15:45）
第2部 パネルディスカッション（16:00～17:30）

■ブロック会議

【中和】日時：2015年11月14日(土) 09:30AM – 11:30AM
【南和】日時：2015年11月14日(土) 14:00PM – 16:00PM
【北和】日時：2015年11月15日(日) 09:30AM – 11:30AM
【奈良】日時：2015年11月15日(日) 14:00PM – 16:00PM

開催場所は、決まり次第
ホームページに掲載いたします。
URL <http://bousainara.com/>

■関西連絡協議会スキルアップ研修「イメージTEN」

日時：2015年12月23日(祝)、時間講師と調整中。
場所：新大阪丸ビル別館
対象：本会員（本会会員）

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、
<http://bousainara.com>でチェック！

奈良県防災士会のウェブサイトで、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしています

→<http://bousainara.com/notice>

スキルアップのための見学が可能です。
見学を希望される登録防災士は、「連絡先」に記載のある担当防災士に連絡の上、ご参加ください。皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております！

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

●送り先 mail@bousainara.com

●テキストおよび写真（肖像権など差支えないもの）をお送りください。



奈良県防災士会のFacebookをスタートしました！さまざまな情報をアップしていきます。「いいね！」をよろしくお願いします。

<http://www.facebook.com/bousainara>

■発行日 2015年9月1日

■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 植村信吉
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5

■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com

■TEL 090-4902-0901

■ウェブサイト <http://bousainara.com>

■facebook <https://www.facebook.com/bousainara>